



# 全国安全週間にあたり 鹿嶋労働基準監督署では 現場パトロールを実施しました

令和元年7月1日



鹿嶋労働基準監督署（署長尾畑 宏忠）は、全国安全週間に伴い管内の大規模建設工事現場のパトロールを実施し、安全対策について確認を行いました。

パトロールにおいて現場の安全対策を確認する、鹿嶋労働基準監督署長

現場では、元請5社による建築工事、設備工事、外構工事等が同時に行われ、約1,100名の労働者が作業に従事していました。



パトロールでは、建設業に代表される「墜落・転落災害」の防止、昨年施行された「墜落制止用器具」に係る法改正、建設現場での溶断等による火災、さらに、業種を問わず多発している「転倒災害」や「交通労働災害」、昨年全国で倍増した「熱中症」における対策状況を重点に確認を行いました。

また、パトロール終了後には、持参したパンフレットにおいて取組の促進を促しました。